

はばたけ

光と大地の子

本校では、学校評価1学期の考察を通して、以下の5項目を意識して2学期の教育活動に取り組んできました。

- 学校生活の様々な場面で、「任せて認める」を実践し、子供が自ら考えたり、企画・運営したりする機会を意図的・計画的に設け、子供の自主性を育てる。
- タブレットパソコンを活用し、個に合った学習支援を行う。(ナビマの活用)
- 自主学習の進め方を提示したり、新聞記事を読み取り記述する学習を取り入れたりすることで、家庭学習の充実をめざす。
- 教師が「どうして」「どのように」など、子供が考えたいくなる課題(めあて)を提示する。
- 1時間の学びを子供が自分の言葉でまとめ、学びを振り返る時間を設定する。

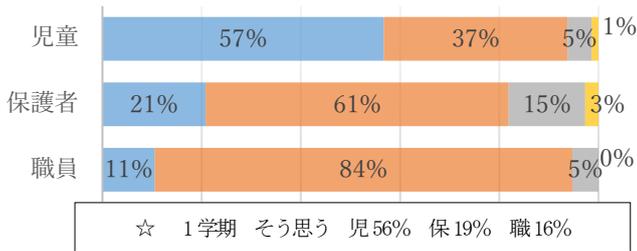
これらの取り組みについて振り返り、2学期末の学校評価の結果を基に分析したことをお知らせします。

浅羽北小学校 教育活動アンケート12月実施結果

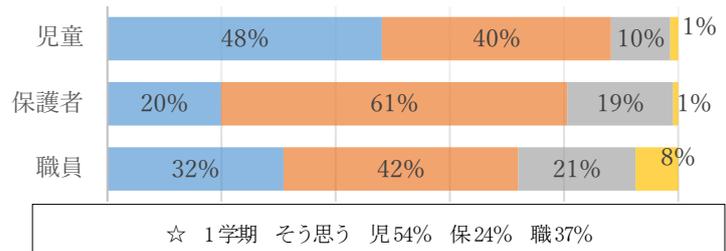
<学びづくりについて>



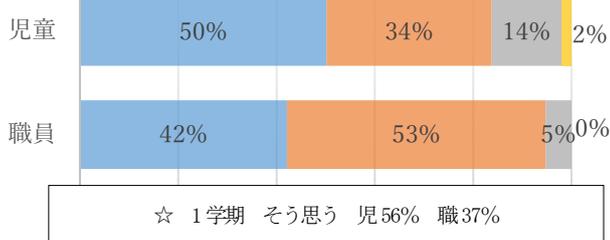
「授業がよく分かる」 目標50%



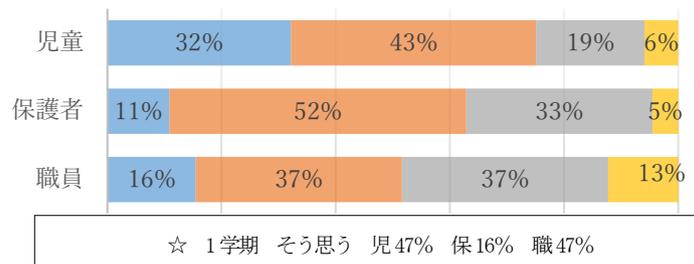
「主体的に授業に取り組む」 目標50%



「授業の振り返りを行う」 目標65%



「家庭学習にめあてをもって取り組む」 目標50%



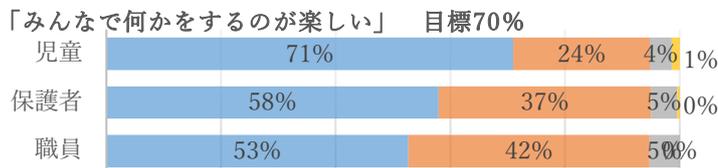
【学びづくりの分析】

- 「授業がよく分かる」は、「そう思う」の数値が目標値を上回っている。今後もロイロノートや「ナビマ」などの学習支援アプリを活用して、子供の学力向上に向けた取り組みを継続していきたい。
- 「主体的に授業に取り組む」は、目標値に届かなかった。子供にとって必然性があり、自ら考えたいくなるような課題の在り方について校内での研修を深め、主体的に授業に取り組む子供を育てていきたい。
- 「授業の振り返りを行う」は、目標値に届かなかった。今後も1時間の学びを自分の言葉で振り返る機会を意図的に設定し、その振り返りを価値付けることで、「分かった」「できた」という学びの実感をもたせるようにしたい。
- 「家庭学習にめあてをもって取り組む」は、目標値に届かなかった。今後も、自主学習の進め方を提示したり、新聞記事を読み取り記述する学習を取り入れたりし、家庭学習の充実を進めていきたい。

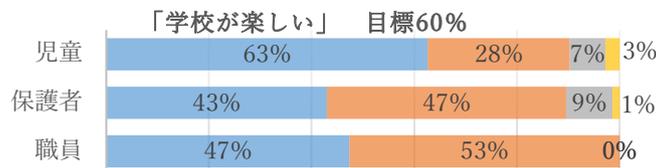
「今後の手立て」

- ・子供が考えたいくなる課題(めあて)を工夫し、学びを深める。
- ・学んだことを子供が自分の言葉でまとめて学びを実感できるように、振り返りの時間を大切にする。
- ・家庭学習を充実し、主体的に学ぶ力を育てる。

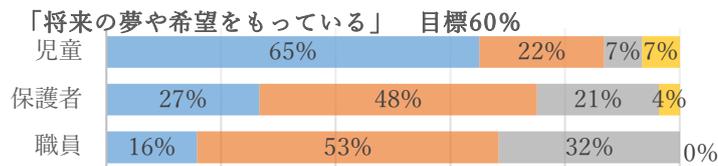
<心づくりについて>



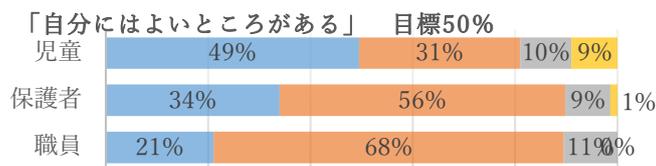
☆ 1学期 そう思う 児73% 保59% 職63%



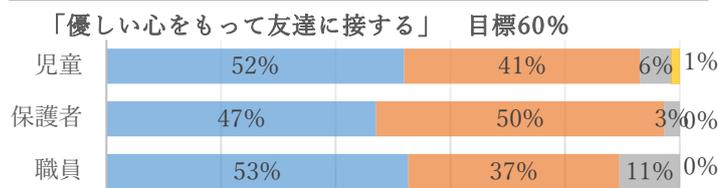
☆ 1学期 そう思う 児65% 保43% 職53%



☆ 1学期 そう思う 児73% 保31% 職0%



☆ 1学期 そう思う 児58% 保34% 職26%



☆ 1学期 そう思う 児63% 職45% 保53%

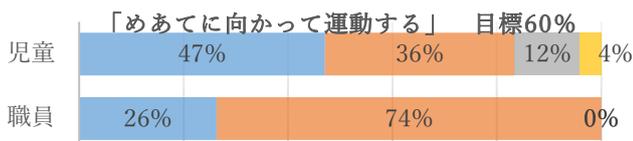
【心づくりの分析】

- 「みんなで何かをするのが楽しい」「学校が楽しい」「自分にはよいところがある」は、目標を達成できている。学校生活の様々な場面で、「任せて認める」ことを実践し、子供が自ら考え、企画・運営する機会を意図的・計画的に設けたことの成果が表れてきている。今後も継続していきたい。
- 「将来の夢や希望をもっている」は、65%の子供が「そう思う」と回答している。1学期から引き続き、子供の良い面や頑張りを様々な場面で認め励ましてきたことが、「将来の夢や希望をもち続ける」ことにつながっている。
- 「優しい心をもって友達に接する」は、目標値に届かなかった。一人一人を尊重して寄り添う心の教育を進め、子供たちが安心して過ごせる居場所づくりをすることで、自分も友達も大切にすることを育てていきたい。

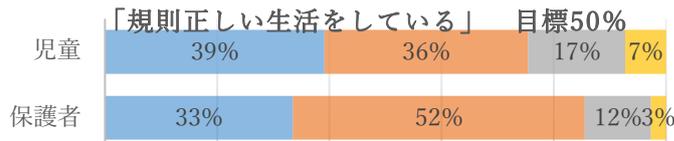
「今後の手立て」

- ・「任せて認める」ことを教師がさらに意識し、子供が自分で考えて実行したことに対して、達成感や充実感を味わい、自己有用感や自己肯定感が高まるように行事や学級活動などを行う。
- ・一人一人を尊重して寄り添う心の教育を進め、子供たちが安心して過ごせる居場所づくりをする。

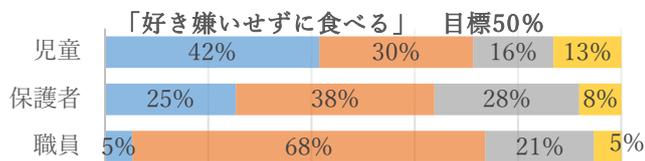
<体づくりについて>



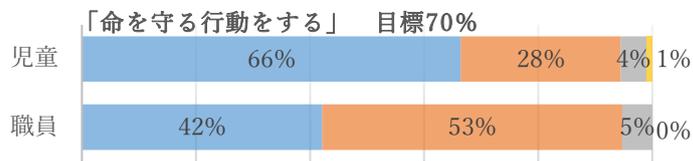
☆ 1学期 そう思う 児56% 職11%



☆ 1学期 そう思う 児48% 保35%



☆ 1学期 そう思う 児48% 保24% 職5%



☆ 1学期 そう思う 児69% 職37%

【体づくりの分析】

- 「めあてに向かって運動する」は、目標値に届かなかった。子供が「やってみたい」「上手になりたい」と思い、めあてをもって運動することができるよう、目標の提示や活動の工夫を行っていききたい。
- 「規則正しい生活をしている」「好き嫌いせずに食べる」は、目標値に届かなかった。規則正しい生活や食事は、子供の集中力の持続や体調の維持につながるため、少しでも改善できるよう、学校での給食の様子や家での食事、睡眠時間など情報交換を行い、学校と家庭が同歩調で子供を育てていくことができるよう努めていきたい。
- 「命を守る行動をする」は、66%の子供が「そう思う」と回答している。避難訓練の姿からも、子供たちの安全への意識は高いと感じる。今後は危険を回避するためにどうすればよいか自分で考え、実践していく力を育てていきたい。

「今後の手立て」

- ・「やってみたい」「上手になりたい」と思える目標の提示や活動の工夫を行う。
- ・家庭と学校が協力し、自分を大切に考え、健康で安全に生活することができる子供を育てる。